

牛久ブロック消費委員会主催
開催日：11/11(月)10:00~
開催場所：つくばカーサ



新おしゃべりキッチンは大盛況！

おしゃべりキッチンは一回で3つの生産者に会えるお得な生産者交流会企画。今回は【安いものには訳がある】をテーマに「**青い海**」、「**新生わたらい茶**」、「**新橋製紙**」の3つの生産者にお越しいただきました。今回は33名（内ゲスト2名）とたくさんの組合員が参加し、消費材を知る機会、良さを再確認する場になりました。今回は聞いたことをお伝えしますね。

是非、みんなで利用して生産者を支えましょう！！

わたらい茶は無農薬、無化学肥料での栽培を目的に設立され、安全、健康、環境を重視したお茶作りに取り組んでいます。

農薬は土に残留するので、それがお茶に出る可能性もあります。だから、施肥も手作業、除草も手作業、平地ばかりではないのでとても大変で手間暇のかかる栽培ですが、40年間有機栽培≡勇気栽培を続けています。日本人の食生活の変化により緑茶の利用量が減っているのに加え、ペットボトルが普及したことで、急須で淹れて飲むリーフ茶の消費も減っているとのこと。素性が明らかな有機栽培茶を私たちが飲み続けることで生産者を応援していきたいと思いました。



新橋製紙のロールペーパーは組合員が知恵を出し合ってきた規格・基準で作った再生紙100%です。再生紙の業界は、実は薬品が多用されている分野のようです。肌に直接触れるものだから、できることなら薬剤を使いたくない。その要望に応えるべく研究実験を重ねロールペーパーにたどり着いたということです。紙力増強剤や漂白剤などは一切使用して

いません。また、丈夫で1回の使用量は市販品より少なくて済むので驚くほど長持ちします。巻きが硬いので、ストックは子どもの椅子として使う組合員もいるそうですよ！用途はトイレだけでなくキッチンなのでも大活躍！！OCR用紙は古紙原料の一部になりますので、捨てずにセンター回収に戻してくださいね！！

青い海の設立は「伝統ある沖縄の塩づくりを復活させよう、沖縄の青い海を守ろう」と有志の集いが原点。「真塩」と「やきしお」は天日塩と海水、「海水塩」は海水から作っています。平釜で煮詰めて乾燥させ、自然脱水するのでミネラルや旨味を感じる塩になります。「素精糖」は沖縄のさとうきびだけを使用し、精製を控えめに仕上げています。だから、粗糖（分蜜糖）の特徴を残したままの素精糖は三温糖と作り方も成分も全く違います。三温糖は粗糖を結晶化させた後に残った糖液を煮詰める作業を繰り返して、最後に残った液で作られるそうです。

